

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床総合学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	503教室
担 当 教 員	花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸臨床現場で診る機会の多い疾患や症候などを重点的に学習する。1年生では東医基礎を、2年生では診断学・治療学を学び、それらを元に東洋医学・西洋医学の両面から各症状別のアプローチのできる臨床鍼灸師としての知識を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学臨床論 <はりきゅう編>』(医道の日本社) 参考書:『社会あはき学』(医道の日本社)						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。 共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。						
《履修に当たっての留意点》						
1年・2年次の東洋医学系の知識をフル活用し行う授業になります。復習を交えながら行います。この教科で手を抜くと、鍼灸師の資格は取れても鍼灸師にはなれません。がんばっていきましょう。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療総論について概説できる①。	教科書 プリント等	シラバス確認。 講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	現代医学的な考え方			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療総論について概説できる②。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	東洋医学的な考え方			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療各論について概説できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	健康医学としての鍼灸療法			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	高齢者の予防医学と東洋医学			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	小児鍼			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	女性に対するアプローチについて説明できる①。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	女性に特有な症状への鍼灸療法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	女性に対するアプローチについて説明できる②。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	スキンケアに対する鍼灸療法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	女性に対するアプローチについて説明できる③。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	ダイエットに対する鍼灸療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレスに対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	ストレスが惹起する症状に対する鍼灸療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ傷害に対するアプローチについて説明できる①。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	スポーツ傷害と鍼灸療法①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ傷害に対するアプローチについて説明できる②。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	スポーツ傷害と鍼灸療法②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ傷害に対するアプローチについて説明できる③。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	スポーツ傷害と鍼灸療法③		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	QOLの向上に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	QOLの向上に対する鍼灸療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	併用するその他の療法について説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	併用するその他の療法(物理療法・運動療法・手技療法・アロマ)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだことを説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	総括		